

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

## 記

《受託開始日》 平成 23 年 4 月 21 日(木) 受付分より

《検査要項》 アレルギー検査セット

検査項目名称	HPP 小児 16	HPP 皮膚炎 16	HPP 喘息 16	HPP 鼻炎 16	混合 16 パネル	食物系 16 パネル
検査コード	11803	11804	11805	11806	11807	11808
検体量	血清 1.5mL					
容器・保存	A1 A2・冷蔵					
実施料(判断料)	1430点(免疫)					
所要日数	2 ~ 3日					
検査方法	FEIA 法					
基準値	クラス 0 0.34 U <sub>A</sub> /mL 以下					

保険収載名称：特異的 IgE

保険注釈：特異的 IgE 検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から 1 回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430 点を限度として算定する。

《解説》

HPP(ハイプロバビリティパネル)は、疾患別・小児領域において高い抗体検出率が得られ、今回のHPP16は従来HPP13にそれぞれ特異的な3項目を新たに加えたことで、より高い検出率が得られるようになりました。

# アレルギー検査パネルの構成アレルゲン

HPP 小児16 コード:11803	HPP 皮膚炎16 コード:11804	HPP 喘息16 コード:11805	HPP 鼻炎16 コード:11806	混合16パネル コード:11807	食物系16パネル コード:11808
卵白	ハウスダスト1	ハウスダスト1	ハウスダスト1	ハウスダスト1	卵白
オボムコイド	ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ	ヤケヒョウヒダニ	オボムコイド
ミルク	スギ	イヌ皮屑	スギ	卵白	ミルク
小麦	カンジダ	ネコ皮屑	ヒノキ	オボムコイド	小麦
ソバ	小麦	ガ	カモガヤ	ミルク	オメガ-5グリアジン
ピーナッツ	ソバ	ユスリカ(成虫)	ブタクサ	小麦	ソバ
エビ	ピーナッツ	ゴキブリ	ヨモギ	ソバ	ピーナッツ
大豆	エビ	アスペルギルス	ハンノキ(属)	ピーナッツ	大豆
イクラ	カニ	カンジダ	イヌ皮屑	大豆	カニ
イワシ	サバ	アルテルナリア	ネコ皮屑	カニ	エビ
ヤケヒョウヒダニ	ピチロスポリウム	スギ	ガ	エビ	イクラ
イヌ皮屑	ガ	ヒノキ	ユスリカ(成虫)	スギ	イワシ
ネコ皮屑	イヌ皮屑	カモガヤ	ゴキブリ	ガ	バナナ
カニ	ネコ皮屑	ブタクサ	オオアワガエリ	動物(マルチ)	キウイ
キウイ	トリコフィトン	ハンノキ(属)	カンジダ	カビ(マルチ)	クルミ
スギ	黄色ブドウ球菌A	ハムスター上皮	アルテルナリア	雑草(マルチ)	ゴマ

疾患別・小児領域において高い抗体検出率が得られるHPP(ハイプロバピリティパネル)13に3項目を加え、より検出率の高いHPP16と、新たに混合パネル16、食物系パネル16の計6種類のアレルギー検査パネルです。

## HPP小児16

小児アレルギー疾患において特異的IgE抗体保有率の高い項目で構成しています。食物アレルギーの原因食物としてトップ10に入るカニ、キウイと更にスギを加えました。

## HPP皮膚炎16

成人アトピー性皮膚炎において特異的IgE抗体保有率の高い項目で構成しています。アトピー性皮膚炎の増悪因子である黄色ブドウ球菌Aや白癬菌(トリコフィトン)を加えました。

## HPP喘息16

成人気管支喘息において特異的IgE抗体保有率の高い項目で構成しています。樹木では比較的飛散時期が長いハンノキや、ハムスター、室内塵を加えました。

## HPP鼻炎16

アレルギー性鼻炎において特異的IgE抗体保有率の高い項目で構成しています。真菌の中では孢子が大きく、鼻腔内でたまりやすいアルテルナリアやカンジダ、室内塵を加えました。

## 混合16パネル

吸入系、食餌系の重要アレルゲンにマルチアレルゲンを加えることで、16項目、29種類のスクリーニング検索が可能です。

動物(マルチ): ネコ皮屑、イヌ皮屑、モルモット上皮、ラット、マウス  
カビ(マルチ): ペニシリウム、クラドスポリウム、アスペルギルス、カンジダ、アルテルナリア、ヘルミントスポリウム  
雑草(マルチ): ブタクサ、ヨモギ、フランスギク、タンポポ(属)、アキノキリンソウ

## 食物系16パネル

食品表示義務7項目に加え、食物アレルギーの原因として頻度の多い魚介類、果物、ナッツと幅広い項目で構成しています。重要な小麦アレルギーに対し、診断効率向上となるオメガ-5グリアジンも加えました。